



3.11後の日本に投げかける 衝撃の告発。

地方ローカル局が追った渾身のドキュメンタリー!

1954年アメリカが行ったビキニ水爆実験。当時、多くの日本の漁船が同じ海で操業していた。にもかかわらず、第五福龍丸以外の「被ばく」は、人々の記憶、そして歴史からもなぜか消し去られていった。闇に葬られようとしていたその重大事件に光をあてたのは、高知県の港町で地道な調査を続けた教師や高校生たちだった。その足跡を丹念にたどったあるローカル局のTVマンの8年にわたる長期取材のなかで、次々に明らかになっていく船員たちの衝撃的なその後…。そして、ついにたどり着いた、“機密文書”…そこには、日本にも及んだ深刻な汚染の記憶があった…。

今こそ僕らは正しい日本の未来を手繰り寄せるためにも、
例えばこの「X年後」を見なければ、体験しなくてはならない。
これは貴重な日本と日本人の記憶です…

大林宣彦 (映画作家)

ひとりの誠実な高校教師が不誠実な日本と
アメリカの政府に対して抗議行動をしている。
その映像は、日本全土が放射能の被害を受けていたという
恐ろしい事実を観客に伝え、この誠実な高校教師を
絶望させてはならない、と静かに訴える。

山田洋次 (映画監督)

入場無料

8月23日(土)

生野区民センター 大ホール

上映時間 ①10:30~ ②14:00~ ③18:00~

主催 映画「X年後」生野実行委員会

